

標 題 : Dietary Fat, Olive Oil Intake and Breast Cancer Risk
地中海食事ピラミッド : 健康的な食の文化的モデル

1. 著 者 : J. M. Martin-Moreno, et al. (スペイン E.N.S. 疫学生物統計部)

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 58: 774-780 (1994)

要 旨 : スペインでの住民による食事と乳癌に関する症例 - 対照研究の一部として、乳癌の原因における食事脂肪と植物油の役割を研究した。

新たに乳癌と診断されて組織学的に確認された 18 - 75 歳の女性 762 人およびランダムに選んだ女性の対照 988 人で、半定量食事頻度アンケートを完成した。各食品項目および栄養素について摂取値によって研究対象者を 4 つに区分し、最少量区分を参照区分とした。

全ての女性で閉経前と後を分け、多重ロジスティック回帰を用いてエネルギー摂取および他の交絡因子の調整をした。

総脂肪摂取量も特定種類の油脂も、閉経前と後の女性とも乳癌と有意な関連はなかった。

しかしオリーブ油(1価多不飽和脂肪が多い)の高い摂取量は、低い乳癌リスクと有意な量依存性で関連した〔摂取量の最高と最低で(4区分) : オッズ比(OR) = 0.66 ; 95%CI、0.46 - 0.97〕。

これらの結果は総脂肪摂取と乳癌リスクとの関連を裏付けないが、オリーブ油(1価多不飽和脂肪と示唆される)と乳癌の逆の関連を提示する。
